

平成 28 年度 ひろしまの森づくり事業

## 県産材消費拡大支援事業(県産材住宅定着促進)

住宅建築会社の皆様が、木造住宅の建築に県産材を使用する場合に、使用する県産材の材積に応じて県産材製品購入費用の一部を補助します。

### 非常に活用しやすくなりました！！

【変更点 1】 建築戸数の制限をなくしました。

- 非常に参入しやすくなりました！！

【変更点 2】 1戸あたりの使用材積の制限をなくしました。

- 県産材使用量が少ない場合も対象となります！！
- 例えば、『土台だけヒノキを使用する』場合も対象

【変更点 3】 書類作成が非常に簡単になりました。

- 流通履歴，県産材証明等書類の簡素化！！
- 写真は上棟後の写真提出だけで OK！！

### 〔問い合わせ先〕

お気軽にご相談ください。

書類作成や県産材の調達をお手伝いします。

広島県 林業課 木材産業グループ

Tel. 082-513-3688 [Eメール. nouringyou@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:nouringyou@pref.hiroshima.lg.jp)

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/life/16/28/122/>



ひろしまの森づくりキャラクター「モーリー」

※詳細については、必ず「県産材消費拡大支援事業(県産材住宅定着促進)実施要領」を参照してください。

## 1 補助内容

県産材の使用量に応じて補助します。(補助額の上限はありません)

$$\text{補助額} = \text{補助単価} \times \text{県産材使用量}$$

(単位：円/m<sup>3</sup>)

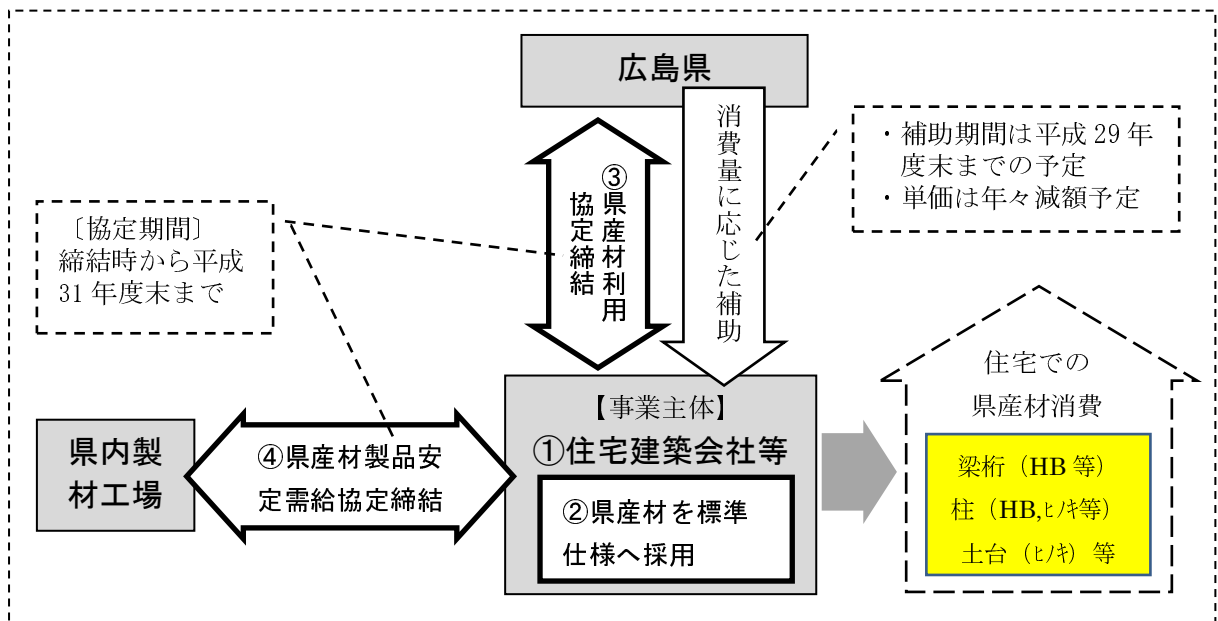
|      |                         |                             |               |       |
|------|-------------------------|-----------------------------|---------------|-------|
| 補助単価 | 主要構造部材                  | 梁・桁                         | 異樹種集成材・ヒノキ集成材 | 5,500 |
|      |                         |                             | スギ無垢材・スギ集成材   | 3,500 |
|      | 柱                       | 異樹種集成材・スギ無垢材・スギ集成材          | 3,500         |       |
|      |                         | ヒノキ無垢材・ヒノキ集成材               | 8,500         |       |
|      | 土台                      | ヒノキ無垢材・ヒノキ集成材 (いずれも防腐処理材含む) | 8,500         |       |
|      |                         | 異樹種集成材・スギ無垢材・スギ集成材          | 3,500         |       |
|      | 枠組壁工法                   | 土台・枠組材                      | 8,500         |       |
| 羽柄材  | 垂木, 母屋, 間柱, 筋交い, 大引, 根太 | 3,500                       |               |       |

県産材とは、合法的な手続を経て伐採された広島県内産の丸太を、広島県内において製材した木材です。

※〔暫定措置〕県産材製品安定需給協定に基づかない製材工場の製品であっても、県内産の丸太から製材された製品であれば、その材積が県産材使用実績量の2割未満までは補助対象とする。

※ 羽柄材についても、県内産の丸太から生産された場合は、補助の対象とする。

## 2 事業のしくみ



次を満たす場合が補助対象となります。

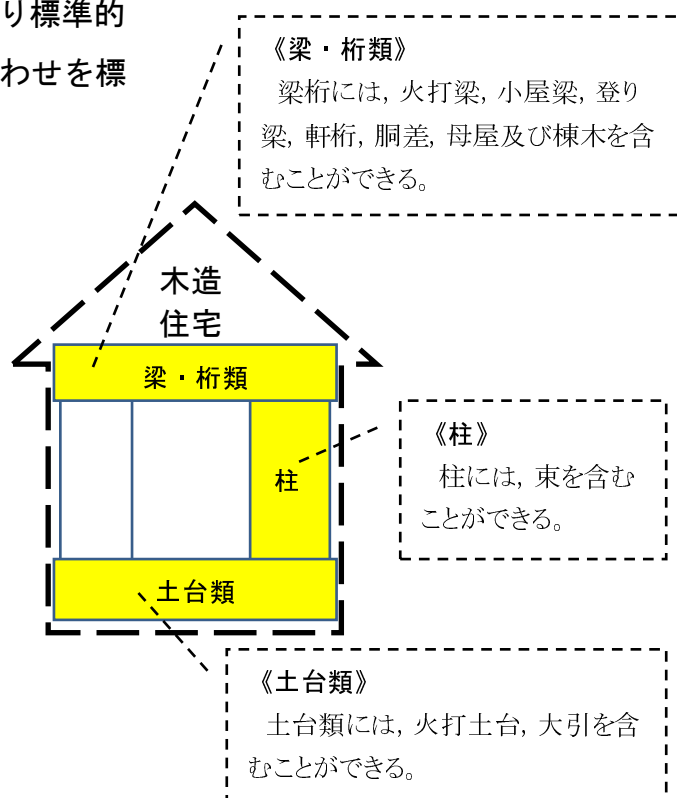
- ① 建築工事業又は大工工事業の許可, 建築士事務所登録, 宅地建物取引業免許のいずれかを受けていること。
- ② 県産材を住宅の主要構造部材に使用することを標準仕様とすること。
- ③ 広島県と「広島県産材利用に関する協定」を締結すること。
- ④ 広島県内の製材工場と「広島県産材製品安定需給に関する協定」を締結すること。

### 3 標準仕様の設定

住宅建築会社等が、木造住宅建築にあたり標準的に使用する部材の樹種及び製材品の組み合わせを標準仕様として設定してください。

| 広島県産材住宅標準仕様（例） |           |                        |
|----------------|-----------|------------------------|
| 〇〇ハウス(株)       |           |                        |
| 部材名            | 樹種・製品区分   | 標準使用材積                 |
| 梁桁類            | HB集成材     | 4.0 m <sup>3</sup> /戸  |
|                | ヒノキ集成材    | 4.0 m <sup>3</sup> /戸  |
| 柱              | ヒノキKD     | 2.0 m <sup>3</sup> /戸  |
|                | ヒノキ集成材    | 2.0 m <sup>3</sup> /戸  |
| 土台類            | ヒノキKD(注入) | 1.5 m <sup>3</sup> /戸  |
| 羽柄材            | スギKD      | 2.0 m <sup>3</sup> /戸  |
| 合計             |           | 15.5 m <sup>3</sup> /戸 |

※ 平均的な規模の住宅に使用する材積を記入



### 事業の活用例

3の標準仕様（例）での住宅建築において、この事業を活用した場合の補助金額の試算は次のとおりです。

〔試算条件〕

建築戸数：10戸（平成28年4月～3月建築）

| 部材名 | 樹種・製品区分     | 消費材積                   | 建築戸数 | 補助金額試算                                       |
|-----|-------------|------------------------|------|--|
| 梁・桁 | HB集成・ヒノキ集成  | 8.0 m <sup>3</sup> /戸  | 10戸  | 8.0 m <sup>3</sup> × 10戸 × 5,500円 = 440,000円 |
| 柱   | ヒノキKD・ヒノキ集成 | 4.0 m <sup>3</sup> /戸  |      | 4.0 m <sup>3</sup> × 10戸 × 8,500円 = 340,000円 |
| 土台  | ヒノキKD(注入)   | 1.5 m <sup>3</sup> /戸  |      | 1.5 m <sup>3</sup> × 10戸 × 8,500円 = 127,500円 |
| 羽柄材 | スギKD        | 2.0 m <sup>3</sup> /戸  |      | 2.0 m <sup>3</sup> × 10戸 × 3,500円 = 70,000円  |
| 合計  |             | 15.5 m <sup>3</sup> /戸 |      | <b>補助金額 977,500円</b>                         |

※ 補助金額は、部材別に補助金額を算出（消費材積×建築戸数×補助単価）後に合計

## 4 事業の流れ

